

水道事業評価(令和7年度)						担当課	上下水道総務課
1 事業情報							
目指すべき方向性	強靱	基本政策	3 災害対策の推進	施 策	3-2 危機管理体制の確立	事 業	3-2-4 災害対応の強化

2 事業評価の概要								
項目	内容							
基本政策	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。							
事業目的	市民生活や経済活動に不可欠の重要なライフラインを担う水道事業体として、あらゆる脅威や非常時へ対応するため、体制整備を図ります。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・新型インフルエンザのほかノロウイルス等感染症に関する情報を収集し、組織内において共有します。 ・感染症予防講習会を実施します。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、埼玉県の検査結果とともにホームページに掲載します。 ・各浄配水場の自家発電設備の点検を行うほか、自家発電設備に必要な石油燃料を確保します。 ・通信機能停止を想定した運転訓練を行うとともに、緊急時対応マニュアルを適宜更新します。							
期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月							
予算額 決算額	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	458	458	0	431	431	0	94%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	458	458		431	431		94%
	人件費	5,146			5,146			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)				
執行状況	上半期執行額	229千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	50%		
進捗状況	・新型インフルエンザのほかノロウイルス等感染症に関する情報を収集し、感染予防対策を実施しました。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、埼玉県の検査結果とともにホームページに掲載しています。 ・非常用自家発電設備の試運転を月2回行いました。試運転後に燃料の残量を確認し、必要な量を確保しました。			

4 終了時評価(事業の達成状況)	
達成状況	・新型インフルエンザ等の感染症に係る情報収集を行い、職員及び委託関係者を対象とした感染症予防講習会を開催し、感染症予防に関する知識の強化を図りました。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、埼玉県の検査結果とともにホームページに掲載しました。 ・定期的に非常用自家発電設備の試運転を行い、確実に運転できるような状態を維持し、常に燃料の確保をしました。 ・新郷浄水場にて、制御装置故障時の現場運転訓練及び、通信遮断時の現場運転訓練を実施しました。

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R7	R8	R9	R10
水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標								
指標名	感染症予防講習会の実施	単位	回/年	目標値	1			
算出式・根拠					実績値	1		
指標名	水道水における放射性物質の情報提供	単位	回/年	目標値	4			
算出式・根拠					実績値	4		
指標名	【PI B610】燃料備蓄日数	単位	日	目標値	0.4			
算出式・根拠	平均燃料貯蔵量/一日燃料使用量				実績値	0.4		
指標名	【PI B608】停電時配水量確保率	単位	%	目標値	78.5			
算出式・根拠	(全施設停電時に確保できる配水能力/一日平均配水量)×100				実績値	78.0		

視点評価及び総合評価					
視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	A	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
・平常時から感染症予防に関する情報を収集し、職員に積極的に周知することで、感染予防に関する知識の強化を見込みます。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、迅速に埼玉県 の検査結果とともにホームページに掲載しました。 また、令和8年度からの放射性物質に関する水質検査体制を見直し、検査体制についてホームページに掲載しました。					B

7 今後の実施方針等	
事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
・新型インフルエンザ等対策マニュアルに基づき、職員への感染予防対策を実施し、未発生期においても要員や物品の確保、業務優先リストを作成するなどの対策を行います。 ・非常時を想定した訓練を実施し、不測の事態に対応できるように訓練を継続します。 ・放射性物質に関する水質検査を見直した結果、検体から井戸水を外れ、縮小化になりました。	現状維持で継続